


営繕のあゆみ 2011



県営泡瀬団地（沖縄市）

 沖縄県土木建築部施設建築課

発刊にあたって

「営繕のあゆみ2011」の発刊にあたり、ごあいさつを申し上げます。

沖縄の本土復帰から今年で40年が経過し、復帰直後から集中的に整備が進められた県有建築物については建替等の時期を迎える一方、新たな沖縄振興計画に基づくプロジェクトの展開により、多くの施設整備が計画されるなど、今後とも本県では旺盛な建築需要が続くものと思われま

す。一方では、東日本大震災を受けての防災対策の一層の充実、環境負荷低減に向けた取り組みの推進、工事発注にあたっての法令遵守の徹底等も求められております。

このような状況の下、平成23年度には県立学校の校舎等については耐震基準の割り増しを行うとともに、営繕工事全般については「構造計画・施工計画の留意点」を定めて品質確保と長寿命化を図りました。

また、設計業務の発注にあたっては、社団法人日本積算協会が付与する「建築積算士」又は「建築コスト管理士」の関与を義務付けて積算精度の向上を目指すなど諸課題への対応を進めております。

さらに、設計業務委託及び工事発注にあたっては、特記仕様書に下請業者の県内企業の優先活用を記載するとともに、優れた人材の育成を目的として、40才未満の若手建築士を対象とした設計競技を開催するなど、地域の要請に的確に込えているところ

です。「営繕のあゆみ2011」は、平成23年度に完成した県有建築物のデータを整備するとともに「県の建築物づくり」に対する課題や取り組みを紹介し、今後の公共建築行政の改善に寄与することを目的に編集しました。

今後とも、本県の公共建築行政について、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、発刊のあいさつといたします。

平成24年6月

沖縄県土木建築部施設建築課
課長 内間 直人

営繕のあゆみ2011

—第27号—

目次

発刊にあたって

I. 業務概要

1. 業務の目的	1
2. 業務の概要	1
3. 年度別業務量の推移	2
4. 平成23年度 営繕業務の契約概要	4
5. 平成23年度 補助事業等設計審査の概要	4

II. 特集

特集—1 島尻特別支援学校	6
特集—2 県営泡瀬団地	10
特集—3 コザ児童相談所一時保護所	12

III. 主な完成建物

1. 企画部	南北大東地区地上デジタル放送局	14
2. 教育庁	(1) 那覇商業高校	15
	(2) 中部農林高等学校	16
	(3) 宮古工業高校	17
	(4) 知念高校	18
	(5) 与勝緑が丘中学校給食施設	19

IV. 工事記録	20
----------	----

V. 利用者満足度調査	32
-------------	----

VI. トピック	33
----------	----

VI. 資料

1. 事務分掌と組織	34
2. 事業・手続きの流れ	35
3. 沖縄県行政機構図	36

編集後記

I. 業務概要

1. 業務の目的

施設建築課では、県有建築物である行政施設、学校、公営住宅、社会福祉施設、産業振興関連施設等の公共建築物について、調査、設計及び工事発注・監理を行っている。

公共建築物は災害に強い安全で安心な施設であることを基本としつつ、高い機能性や快適性を備え、また、景観や環境への配慮などきめ細かい対応が求められている。このため、沖縄地方営繕業務連絡会を開催し、技術力の向上と県内他機関との連携を図り、新技術の導入やユニバーサルデザイン、施設の長寿命化などの新たな施策の展開を積極的に行っている。

また、限られた予算のなか、良質な施設を低廉な価格で調達するための取り組みが求められていることから、業務発注に当たっても総合評価方式を導入するなど公平性と透明性の確保に努めている。

*営繕とは、「建築物の営造と修繕」のことをいい、建築物の新築、増築、改築、修繕、模様替等の工事を指す。

2. 業務の概要

沖縄県における県有施設の整備等に係る事業費は、施設を所管する各部局、各課ごとに予算要求が行われる。当課では事業所管課からの要望に基づき、施設の事業発案や基本構想の段階から技術的相談の実施、予算要求資料の作成協力を行っており、予算成立後は当課において施設整備に係る調査、設計、工事監理及びこれに係る契約業務を行っている。

また、敷地緑化の推進、雨水タンクや浸透マスの設置等による雨水対策等の独自の施策を実施するほか、建築物の耐震診断、劣化調査などの調査業務、民間補助事業に係る設計審査業務など営繕全般に係る業務を実施している。

執行体制は、企画班、建築班、設備班の3班で技術職27名、事務職3名の計30名となっている。また、宮古及び八重山地区については、所管土木事務所による工事監理を行っている。



県営泡瀬団地新築工事（沖縄市）

3. 年度別事業量の推移

施設建築課で行った平成17年度から平成23年度までの7年間の事業量は【表-1】のとおりとなっている。

平成15年度からは県立学校施設の整備事業が新たに加わり、事業量は増加したが、その後の厳しい財政状況を反映して大型事業を控えたこともあり、平成19年度まで減少傾向が続いた。しかし、近年は緊急経済対策関連の事業が予算措置されたこと等から、契約件数・額ともに増加傾向にある。

各年度の主たる事業

- 平成17年度: 女性相談所、県営屋宜原団地、豊見城改良住宅、南風原高校、真和志高校
- 平成18年度: 動物愛護センター、那覇浄化センター、宮古養護学校、県営浜川団地、八重山警察署
- 平成19年度: アグー分娩豚舎、運天港岸壁附属施設、県営渡橋名団地、西原高校屋内運動場及び武道場
- 平成20年度: 県立若夏学院、ヤンバルクイナ飼育下繁殖施設、県営浜川団地、具志川商業高校管理・産振棟
- 平成21年度: 中部合同庁舎行政棟、沖縄IT津梁パーク中核A棟、奥武山水泳プール、コザ高校校舎、豊見城団地県改良住宅
- 平成22年度: 沖縄県運転免許センター、沖縄IT津梁パーク中核B棟、沖縄県立芸術大学美術工芸学部、那覇商業高校校舎、県営泡瀬団地
- 平成23年度: 県営泡瀬団地、島尻特別支援学校、那覇商業高校、中部農林高校、うるま婦人寮母子寮、コザ児童相談所

【表-1】平成17年度～平成23年度の年度別事業費の推移<契約ベース>

(単位:千円)

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
課内執行	住宅課分割	3,250,646	4,766,498	2,236,338	2,920,309	3,065,488	3,733,699	1,472,533
	教育庁(分任)	4,837,850	5,430,312	4,997,482	4,517,504	8,021,326	4,899,354	6,121,128
	その他の分任	3,821,699	519,087	1,062,658	5,215,010	3,553,345	2,565,884	3,543,289
非分任(土木建築部)		1,476,264	945,315	1,517,830	1,002,688	1,344,597	1,269,111	702,771
合計		13,386,459	11,661,212	9,814,309	13,655,512	15,984,757	12,468,048	11,839,721

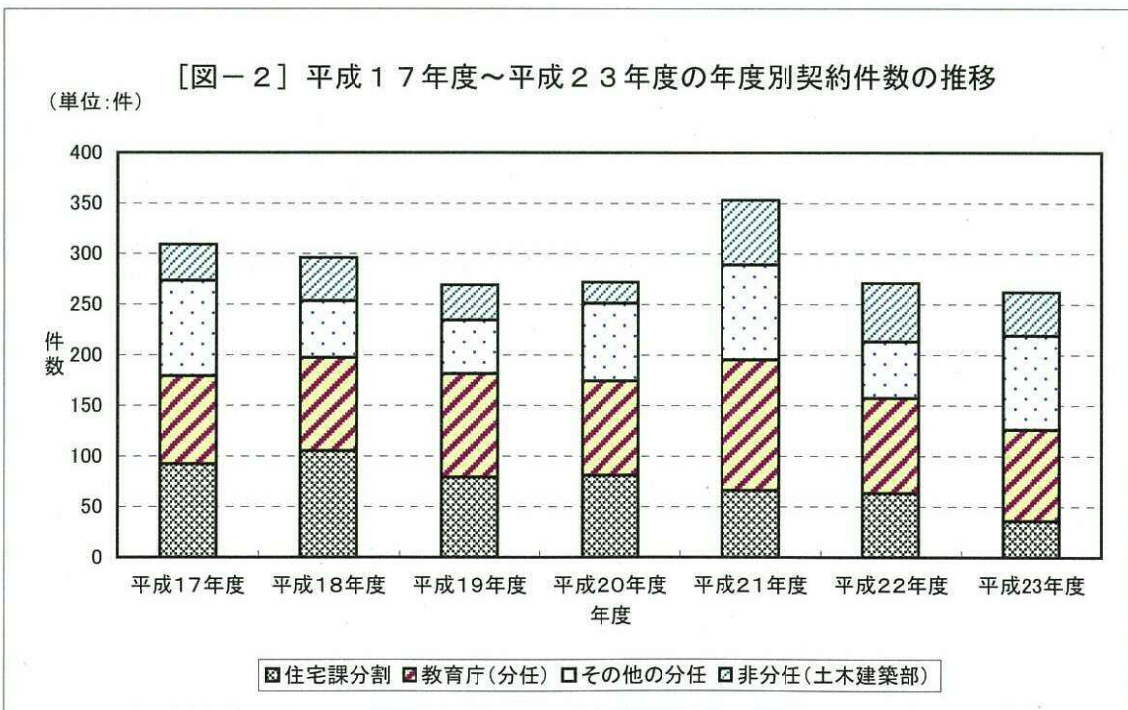
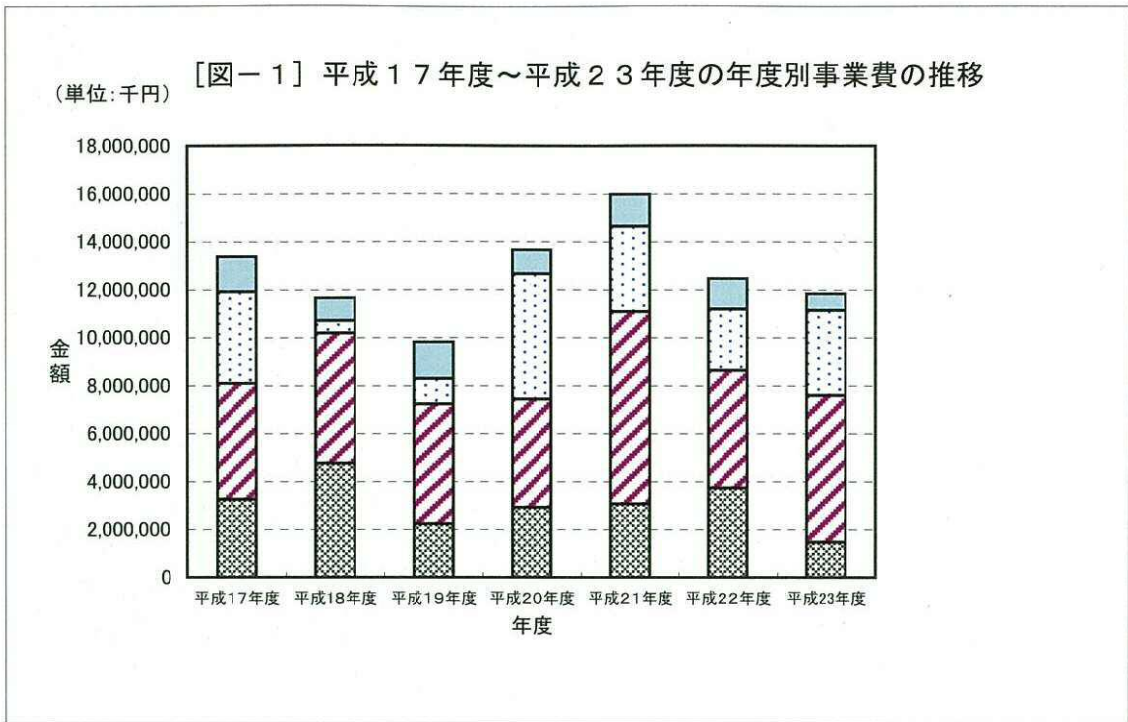
注) 事業費=工事費+委託料

【表-2】平成17年度～平成23年度の年度別契約件数の推移<契約ベース>

(単位:件)

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
課内執行	住宅課分割	92	105	79	81	66	63	36
	教育庁(分任)	87	92	102	93	129	94	90
	その他の分任	94	56	53	77	94	56	93
非分任(土木建築部)		36	43	35	21	64	58	43
合計		309	296	269	272	353	271	262

注) 契約件数=工事契約件数+委託契約件数



4. 平成23年度 営繕業務の契約概要

【表-3】平成23年度 工事及び委託契約額（平成23年度契約分）

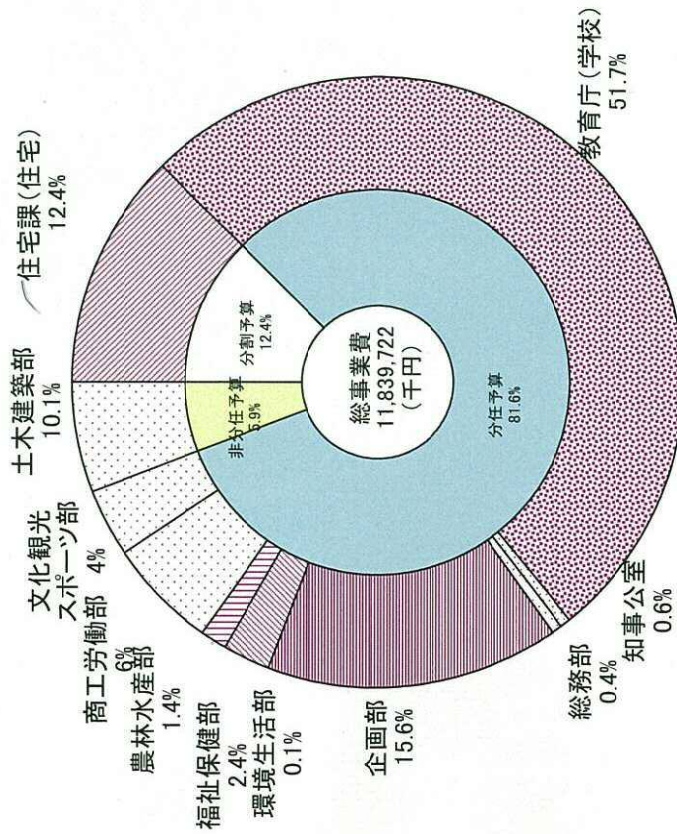
(単位：円)

	工事契約										委託契約						(工事+委託) 契約			
	建築工事		電気設備工事		機械設備工事		土木工事		工事合計		設計		監理		委託合計		事業費総合計			
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
(分割予算)																				
住宅課(住宅)	12	1,019,446,680	2	96,548,550	3	178,104,150	1	55,509,300	18	1,349,608,680	8	49,765,000	10	73,159,800	18	122,924,800	36	1,472,533,480		
(分任予算)																				
教養庁(学校)	30	3,714,821,670	9	478,260,510	14	678,430,200	0	0	53	4,871,512,380	21	1,036,363,520	16	213,251,900	37	1,249,615,420	90	6,121,127,800		
知事公室	0	0	0	0	2	71,090,250	0	0	2	71,090,250	2	3,255,000	2	903,000	4	4,158,000	6	75,248,250		
総務部	1	28,686,000	0	0	0	0	0	0	1	28,686,000	2	14,277,825	1	1,249,920	3	15,527,745	4	44,213,745		
企画部	6	1,214,823,750	2	227,430,000	3	301,676,550	0	0	11	1,743,930,300	3	57,340,650	3	46,470,189	6	103,810,839	17	1,847,741,139		
環境生活部	1	14,700,000	0	0	0	0	0	0	1	14,700,000	1	1,207,500	1	493,500	2	1,701,000	3	16,401,000		
福祉保健部	3	119,392,779	2	40,582,500	4	75,521,250	0	0	9	235,496,529	7	38,736,300	7	11,330,250	14	50,066,550	23	285,563,079		
農林水産部	0	0	0	0	2	138,180,000	0	0	2	138,180,000	3	24,208,500	1	1,312,500	4	25,521,000	6	163,701,000		
商工労働部	3	466,401,229	1	46,441,500	3	128,509,500	0	0	7	641,352,229	4	39,143,000	3	13,221,200	7	52,364,200	14	693,716,429		
文化観光																				
スポーツ部	7	339,285,983	1	24,234,000	1	28,044,450	0	0	9	391,564,433	5	9,849,000	5	15,291,650	10	25,140,650	19	416,705,083		
小計	63	6,917,558,091	17	913,497,060	32	1,599,556,350	1	55,509,300	113	9,486,120,801	56	1,274,146,295	49	376,683,909	105	1,650,830,204	218	11,136,951,005		
比率	55.8	72.9	15.0	9.6	28.3	16.9	0.9	0.6	100.0	100.0	53.3	77.2	46.7	22.8	100.0	100.0				
(非分任予算)																				
土木建築部	10	278,085,839	5	206,413,200	7	184,737,000	0	0	22	669,236,039	14	29,192,900	7	4,341,649	21	33,534,549	43	702,770,588		
小計	10	278,085,839	5	206,413,200	7	184,737,000	0	0	22	669,236,039	14	29,192,900	7	4,341,649	21	33,534,549	43	702,770,588		
合計	73	7,195,643,930	22	1,119,910,260	39	1,784,293,350	1	55,509,300	135	10,155,356,840	70	1,303,339,195	56	381,025,558	126	1,684,364,753	261	11,839,721,593		
比率	54.1	70.9	16.3	11.0	28.9	17.6	0.7	0.5	100.0	100.0	55.6	77.4	44.4	22.6	100	100				

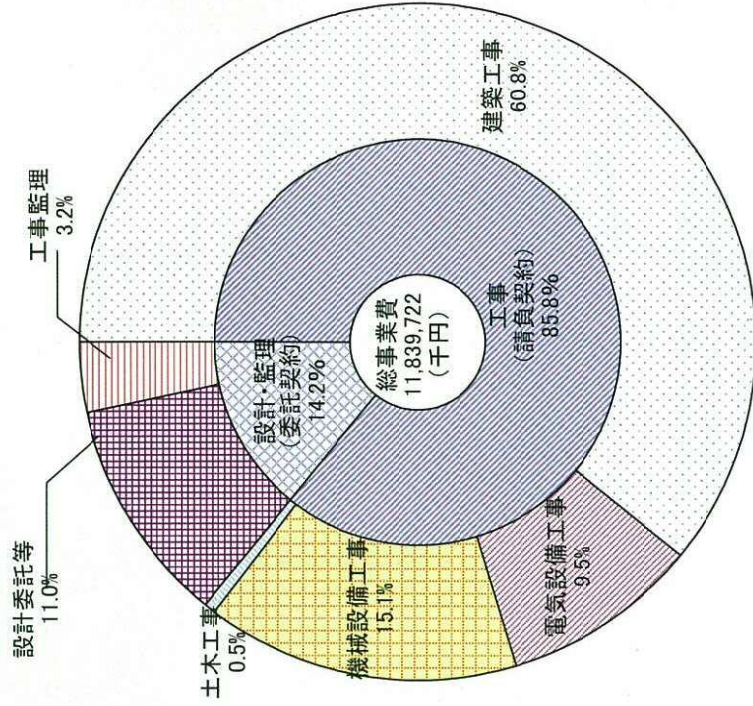
5. 平成23年度 補助事業等設計審査の概要

部局	工事名称	設計審査額	延べ床面積
福祉保健部	沖繩小児発達センター	616,350,000	4,617
福祉保健部	名護療育園	1,034,799,500	6,814
		合計2件の設計審査実施	

[図-3] 平成23年度 部局別事業割合



[図-4] 平成23年度 委託・工事種別事業割合



Ⅱ. 特集 特集－1 島尻特別支援学校

1. 事業概要

既設校舎は、管理・小学部棟、中学部棟等合計6棟からなる地上3階建ての特別支援学校で、築後30年が経過し老朽化が著しく、建築基準法による耐震基準を満たしていないことより建替え工事が必要となった。

新校舎は、児童生徒一人一人の心身の状態や特性に応じた円滑な指導と支援の推進が図れることを施設整備の方針とした。また、施設のバリアフリー化に努め、安全かつ快適な学習環境の場を確保する為、建物を2階建とし、各学部をひとつのフロア内に集約することで、児童の生活はもちろん教職員にも配慮した計画となっている。また、雨水の有効利用や太陽光発電を取り入れることで環境への配慮も行った。

2. 施設全体概要

所在地：八重瀬町字友寄

工期：平成22年3月～平成24年3月

構造・階数：RC造 地上2階

敷地面積：30,971 m²

延べ面積：10,086.07 m²



全体図

3. 各施設概要

施設名：校舎・幼稚園舎棟
工期：平成22年3月～平成22年11月
構造・階数：RC造 地上2階
延べ面積：7,510.44㎡



正面玄関



西側遠景

施設名：屋内運動場
工期：平成22年9月～平成23年5月
構造・階数：RC造・一部S造 地上2階
延べ面積：1,424.76㎡



屋内運動場棟全景

施設名：寄宿舍
工期：平成22年9月～平成23年5月
構造・階数：RC造 平屋
延べ面積：949.31㎡



寄宿舍棟 全景

施設名：水泳プール
工期：平成23年9月～平成24年3月
構造・階数：RC造 平屋
延べ面積：201.56㎡

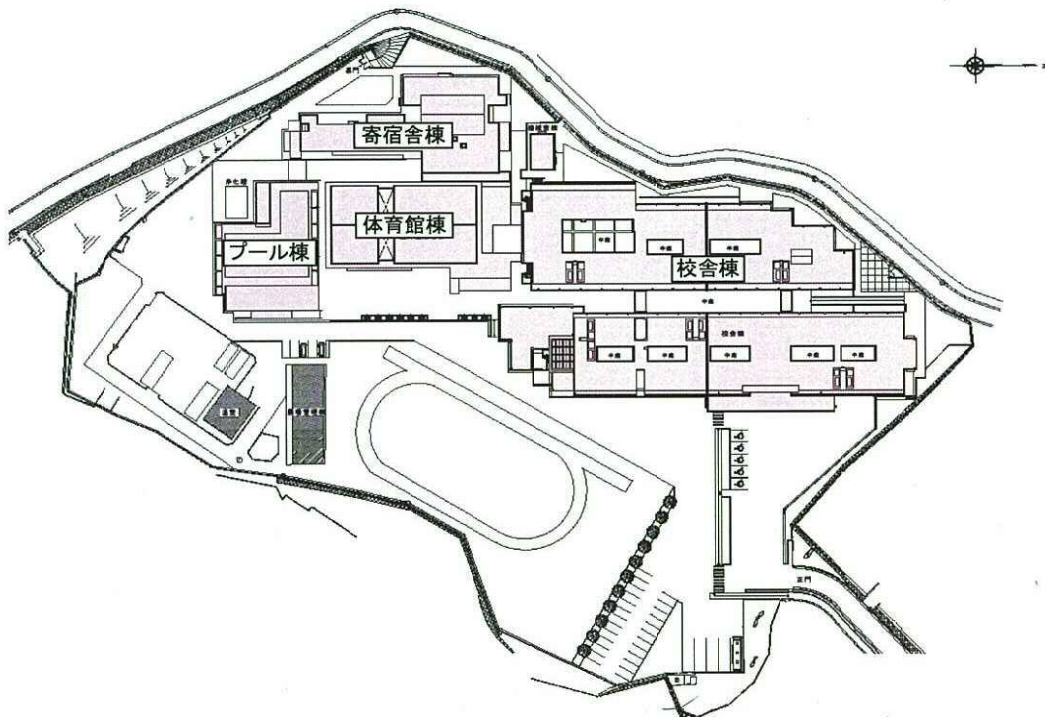


プール棟 内観

4. 配置計画

限られた敷地の中で、学校を使用しながら工事を行う必要があったため、学校や生徒の負担軽減を考慮し、工事を棟別に3段階に分けて行う計画とした。さらに、最も規模の大きい校舎棟を既設運動場の位置に配置することにより、仮設校舎を不要とした。

また、南北軸を基準とした校舎各棟を敷地西側にコンパクトに配置することにより、車両と歩行者の動線を区画し、生徒が校内を安全かつ明快地移動できる計画とした。



5. 平面計画

施設整備にあたっては、ユニバーサルデザインを取り入れるとともに、ミーティングを重ね、より快適な施設管理を考慮した計画を行った。校舎には中庭を取り入れ施設の至る所に自然光及び通風が確保できる平面計画とし、明るく快適な施設計画とした。



校舎玄関



普通教室



屋外テラス



屋内トイレ



プレイルーム



機能訓練室



屋内運動場アリーナ



寄宿舍食堂